

膀胱留置カテーテルを抜去できた方 (2020.4.1~9.30)

- ▶ 入院時 **10名⇒9名** 抜去
- ▶ 脳血管疾患：5名
- ▶ 廃用症候群：5名
- ▶ 当院では、入院時より膀胱留置カテーテルを抜去して退院して頂くことを目標に取り組んでいます
- ▶ 療法士は、移動・移乗・排泄動作練習
- ▶ 看護師・看護補助者は、自尿や尿量の確認
- ▶ 医師は、薬の調整を行い回復が思わしくないケースは泌尿器科に受診をして治療方法を検討します
- ▶ 3ヶ月以内に抜去することができました

経鼻経管栄養から経口摂取に移行できた方 (2020.4.1~9.30)

- ▶ 入院時 **5名⇒3名** 経口摂取
- ▶ 言語聴覚士（S T）が嚥下機能の評価・治療を行っています
- ▶ 医師の指示のもと嚥下造影検査（V F）を実施し、嚥下に問題がないと診断された方は、経口摂取に移行しています
- ▶ 看護師、言語聴覚士が食事の介助、見守りをし、安全に食事を進められるよう取り組んでいます

褥瘡治療報告

(2020.4.1～9.30)

▶ 5名 (院内発生2名) ⇒ 5名全員治癒

- ▶ 脳血管疾患：2名
- ▶ 運動器疾患：2名
- ▶ 廃用症候群：1名
- ▶ 褥瘡レベルⅠ（軽度）：1名、Ⅱ：3名、Ⅳ（重度）：1名
- ▶ 褥瘡（治癒までの）期間：10日～60日 ※個人差があります
- ▶ 看護師・看護補助者と療法士でポジショニングを徹底し、再発予防と治癒の促進をしています
- ▶ 患者さまの状態・目的に合わせ、車いすのシーティングを実施しています